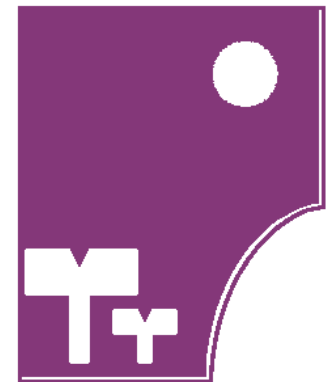


令和5年度

# 十勝管内教育研究所連絡協議会 共同研究員会議

---

単元計画作成資料



教科名	算数科		学 年	6学年
単元名	つり合いのとれた図形を調べよう		児童数	30名
			授業者	白澤 大輔
1 単元の目標				
対称な図形の観察や構成を通してその意味や性質を理解し、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見出したりする力などを養うとともに、図形を対称という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。				
2 観点別評価規準				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・線対称、点対称な図形の意味や性質について理解し、線対称、点対称な図形をかくことができる。	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、対称という観点で既習の図形を見直しその性質をとらえて説明し、図形に対する見方を深めている。	・対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。		
3 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育むための手立て				
① 考えの根拠をもち、多様な表現で伝えようとする姿 ・自分の考えを表現するために、ノート、ワークシート、タブレット端末という3つの方法を示し、子どもが選択できるようにする。 ・子どもの言葉を生かしながら、問題解決の見通しをもつことができるようにする。				
② 他者や自己との対話を通じ、考えを広げようとする姿 ・単元や1単位時間で身に付けさせたい資質・能力に沿った思考スキルを提示し、対話の視点を明確にする。 ・グループの人数を3～4名にし、全員が自分の考えを伝え合えるような場を設定する。				
③ 対話を通して得られた様々な情報を精査して、自分の考えを再形成しようとする姿 ・ロイロノートの思考ツール機能を活用し、グループでの対話における思考の過程を可視化させる。 ・可視化された情報を基に、自分の考えを整理する時間を設定する。				
④ 自分の学習活動を振り返り、学んだことを次につなげようとする姿 ・タブレット端末のロイロノートを使い、1単位時間ごとの振り返りを行う。そして、教師が形成的評価をすることで、子どもが学びの自己調整ができるようにする。 ・授業の導入で数名の子の振り返りを紹介し、振り返る視点を共有する。				
4 単元で提示する振り返りの視点				
① 分かったことやできるようになったこと ② 今後の学習で取り組みたいこと ③ 疑問に思ったこと、もっとやってみたいこと ④ 単元の学び ⑤ これまでの振り返りから自分の変化や成長を自覚する				

8	<p>◆点対称な図形の性質を基にして、点対称な図形のかき方を説明しよう。</p> <p>○ 点対称な図形の性質を用いた、点対称な図形のかき方を考え、点対称な図形をかく。</p>	<p>① 【知・技】 ・点対称な図形をかくことができる。 (ノート)</p> <p>② 【思・判・表】 ・点対称な図形の性質を基に、対応する点の位置の決め方を考え、説明している。(発言、ノート)</p>
---	--	---

# 単元計画の記載事項

- 1 教科名、単元名、学年、児童（生徒）数、授業者
- 2 単元の目標
- 3 観点別評価規準
- 4 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育むための手立て
- 5 単元で表示する振り返りの視点
- 6 単元の指導と評価の計画

# 1 教科名、単元名、学年、児童（生徒）数、授業者

教科名	算数科	
単元名	つり合いのとれた図形を調べよう	
学年	6学年	
児童数	30名	
授業者	白澤 大輔	
1 単元の目標		
対称な図形の観察や構成を通してその意味や性質を理解し、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見出したりする力などを養うとともに、図形を対称という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。		
2 観点別評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・線対称、点対称な図形の意味や性質について理解し、線対称、点対称な図形をかくことができる。	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、対称という観点で既習の図形を見直しその性質をとらえて説明し、図形に対する見方を深めている。	・対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
3 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育むための手立て		
① 考えの根拠をもち、多様な表現で伝えようとする姿		
・自分の考えを表現するために、ノート、ワークシート、タブレット端末という3つの方法を示し、子どもが選択できるようにする。		
・子どもの言葉を生かしながら、問題解決の見通しをもつことができるようにする。		
② 他者や自己との対話を通じ、考えを広げようとする姿		
・単元や1単位時間で身に付けさせたい資質・能力に沿った思考スキルを提示し、対話の視点を明確にする。		
・グループの人数を3～4名にし、全員が自分の考えを伝え合えるような場を設定する。		
③ 対話を通して得られた様々な情報を精査して、自分の考えを再形成しようとする姿		
・ロイロノートの思考ツール機能を活用し、グループでの対話における思考の過程を可視化させる。		
・可視化された情報を基に、自分の考えを整理する時間を設定する。		
④ 自分の学習活動を振り返り、学んだことを次につなげようとする姿		
・タブレット端末のロイロノートを使い、1単位時間ごとの振り返りを行う。そして、教師が形成的評価をすることで、子どもが学びの自己調整ができるようにする。		
・授業の導入で数名の子の振り返りを紹介し、振り返る視点を共有する。		
4 単元で提示する振り返りの視点		
① 分かったことやできるようになったこと		
② 今後の学習で取り組みたいこと		
③ 疑問に思ったこと、もっとやってみたいこと		
④ 単元の学び		
⑤ これまでの振り返りから自分の変化や成長を自覚する		

実施する教科名、単元名を記載。

学年、児童（生徒）数、授業者名をそれぞれ記載。

## 2 単元の目標

教科名	算数科		学 年	6学年
単元名	つり合いのとれた図形を調べよう		児童数	30名
			授業者	白澤 大輔
1 単元の目標				
対称な図形の観察や構成を通してその意味や性質を理解し、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方等を考察したり図形の性質を見出したりする力などを養うとともに、図形を対称という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。				
2 観点別学習状況				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
・線対称、点対称な図形の意味や性質について理解し、線対称、点対称な図形をかくことができる。	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、対称という観点で既習の図形を見直しその性質をとらえて説明し、図形に対する見方を深めている。	・対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。		
3 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育むための手立て				
① 考えの根拠をもち、多様な表現で伝えようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを表現するために、ノート、ワークシート、タブレット端末という3つの方法を示し、子どもが選択できるようにする。</li> <li>子どもの言葉を生かしながら、問題解決の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>				
② 他者や自己との対話を通じ、考えを広げようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元や1単位時間で身に付けさせたい資質・能力に沿った思考スキルを提示し、対話の視点を明確にする。</li> <li>グループの人数を3～4名にし、全員が自分の考えを伝え合えるような場を設定する。</li> </ul>				
③ 対話を通して得られた様々な情報を精査して、自分の考えを再形成しようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ロイロノートの思考ツール機能を活用し、グループでの対話における思考の過程を可視化させる。</li> <li>可視化された情報を基に、自分の考えを整理する時間を設定する。</li> </ul>				
④ 自分の学習活動を振り返り、学んだことを次につなげようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末のロイロノートを使い、1単位時間ごとの振り返りを行う。そして、教師が形成的評価をすることで、子どもが学びの自己調整ができるようにする。</li> <li>授業の導入で数名の子の振り返りを紹介し、振り返る視点を共有する。</li> </ul>				
4 単元で提示する振り返りの視点				
① 分かったことやできるようになったこと				
② 今後の学習で取り組みたいこと				
③ 疑問に思ったこと、もっとやってみたいこと				
⑤ 単元の学び				
⑩ これまでの振り返りから自分の変化や成長を自覚する				

教育課程や指導書を確認し、実施する単元の目標を記載。

### 3 観点別評価規準

教科名	算数科		学 年	6学年
単元名	つり合いのとれた図形を調べよう		児童数	30名
			授業者	白澤 大輔
1 単元の目標				
対称な図形の観察や構成を通してその意味や性質を理解し、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見出したりする力を養うとともに、図形を対称という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。				
2 観点別評価規準				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>線対称、点対称な図形の意味や性質について理解し、線対称、点対称な図形をかくことができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、対称という観点で既習の図形を見直しその性質をとらえて説明し、図形に対する見方を深めている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。</li> </ul>
3 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育むための手立て				
① 考えの根拠をもち、多様な表現で伝えようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを表現するために、ノート、ワークシート、タブレット端末という3つの方法を示し、子どもが選択できるようにする。</li> <li>子どもの言葉を生かしながら、問題解決の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>				
② 他者や自己との対話を通じ、考えを広げようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元や1単位時間で身に付けさせたい資質・能力に沿った思考スキルを提示し、対話の視点を明確にする。</li> <li>グループの人数を3～4名にし、全員が自分の考えを伝え合えるような場を設定する。</li> </ul>				
③ 対話を通して得られた様々な情報を精査して、自分の考えを再形成しようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ロイロノートの思考ツール機能を活用し、グループでの対話における思考の過程を可視化させる。</li> <li>可視化された情報を基に、自分の考えを整理する時間を設定する。</li> </ul>				
④ 自分の学習活動を振り返り、学んだことを次につなげようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末のロイロノートを使い、1単位時間ごとの振り返りを行う。そして、教師が形成的評価をすることで、子どもが学びの自己調整ができるようにする。</li> <li>授業の導入で数名の子の振り返りを紹介し、振り返る視点を共有する。</li> </ul>				
4 単元で提示する振り返りの視点				
① 分かったことやできるようになったこと				
② 今後の学習で取り組みたいこと				
③ 疑問に思ったこと、もっとやってみたいこと				
⑤ 単元の学び				
⑩ これまでの振り返りから自分の変化や成長を自覚する				

単元の目標に合わせて、3つの観点で評価規準を記載。

「知識・技能」

「思考・判断・表現」

「主体的に学習に取り組む態度」

## 4 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育むための手立て

教科名	算数科		学 年	6学年
単元名	つり合いのとれた図形を調べよう		児童数	30名
			授業者	白澤 大輔
1 単元の目標				
対称な図形の観察や構成を通してその意味や性質を理解し、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見出したりする力などを養うとともに、図形を対称という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。				
2 観点別評価規準				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・線対称、点対称な図形の意味や性質について理解し、線対称、点対称な図形をかくことができる。	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、対称という観点で既習の図形を見直しその性質をとらえて説明し、図形に対する見方を深めている。	・対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	
3 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育むための手立て				
① 考えの根拠をもち、多様な表現で伝えようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを表現するために、ノート、ワークシート、タブレット端末という3つの方法を示し、子どもが選択できるようにする。</li> <li>子どもの言葉を生かしながら、問題解決の見通しをもつことができるようにする。</li> </ul>				
② 他者や自己との対話を通じ、考えを広げようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>単元や1単位時間で身に付けさせたい資質・能力に沿った思考スキルを提示し、対話の視点を明確にする。</li> <li>グループの人数を3～4名にし、全員が自分の考えを伝え合えるような場を設定する。</li> </ul>				
③ 対話を通して得られた様々な情報を精査して、自分の考えを再形成しようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>ロイロノートの思考ツール機能を活用し、グループでの対話における思考の過程を可視化させる。</li> <li>可視化された情報を基に、自分の考えを整理する時間を設定する。</li> </ul>				
④ 自分の学習活動を振り返り、学んだことを次につなげようとする姿				
<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末のロイロノートを使い、1単位時間ごとの振り返りを行う。そして、教師が形成的評価をすることで、子どもが学びの自己調整ができるようにする。</li> <li>授業の導入で数名の子の振り返りを紹介し、振り返る視点を共有する。</li> </ul>				
4 単元で提示する振り返りの視点				
① 分かったことやできるようになったこと				
② 今後の学習で取り組みたいこと				
③ 疑問に思ったこと、もっとやってみたいこと				
⑤ 単元の学び				
⑩ これまでの振り返りから自分の変化や成長を自覚する				

本研究で目指す子どもの姿の具現化に向けて、**単元を通じた手立て**を記載。

○考えの根拠をもち、多様な表現で伝えようとする姿

○他者や自己との対話を通じ、考えを広げようとする姿

○対話を通して得られた様々な情報を精査して、自分の考えを再形成しようとする姿

○自分の学習を振り返り、学んだことを次につなげようとする姿

## 5 単元で提示する振り返りの視点

教科名	算数科		学 年	6学年
単元名	つり合いのとれた図形を調べよう		児童数	30名
			授業者	白澤 大輔
<b>1 単元の目標</b>				
対称な図形の観察や構成を通してその意味や性質を理解し、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見出したりする力などを養うとともに、図形を対称という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
<b>2 観点別評価規準</b>				
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・線対称、点対称な図形の意味や性質について理解し、線対称、点対称な図形をかくことができる。	・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、対称という観点で既習の図形を見直しその性質をとらえて説明し、図形に対する見方を深めている。	・対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。	
<b>3 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもを育むための手立て</b>				
① 考えの根拠をもち、多様な表現で伝えようとする姿 ・自分の考えを表現するために、ノート、ワークシート、タブレット端末という3つの方法を示し、子どもが選択できるようにする。 ・子どもの言葉を生かしながら、問題解決の見通しをもつことができるようにする。				
② 他者や自己との対話を通じ、考えを広げようとする姿 ・単元や1単位時間で身に付けさせたい資質・能力に沿った思考スキルを提示し、対話の視点を明確にする。 ・グループの人数を3～4名にし、全員が自分の考えを伝え合えるような場を設定する。				
③ 対話を通して得られた様々な情報を精査して、自分の考えを再形成しようとする姿 ・ロイロノートの思考ツール機能を活用し、グループでの対話における思考の過程を可視化させる。 ・可視化された情報を基に、自分の考えを整理する時間を設定する。				
④ 自分の学習活動を振り返り、学んだことを次につなげようとする姿 ・タブレット端末のロイロノートを使い、1単位時間ごとの振り返りを行う。そして、教師が形成的評価をすることで、子どもが学びの自己調整ができるようにする。 ・授業の導入で数名の子の振り返りを紹介し、振り返る視点を共有する。				
<b>4 単元で提示する振り返りの視点</b>				
① 分かったことやできるようになったこと				
② 今後の学習で取り組みたいこと				
③ 疑問に思ったこと、もっとやってみたいこと				
⑤ 単元の学び				
⑪ これまでの振り返りから自分の変化や成長を自覚する				

学びを深める振り返りにするために、単元で提示する振り返りの視点を記載。

**【振り返りの「ポイント」と「視点」】**  
(第1回共同研究員会議9ページ参照)

「ポイント」	振り返りの「視点」
(1) 「振り返り」の目的を確認する。	① 分かったことやできるようになったこと(学びの自覚) ② 今後の学習で取り組みたいこと(学びの見通し) ③ 疑問に思ったこと、もっとやってみたいこと(新たな学びの創造)
(2) 学習時間のまとまりを意識した、学習内容を関連付けたりする。	④ 本時の学び(1単位時間) ⑤ 単元の学び(単元全体) ⑥ 他の単元とのつながり(複数単元との関連付け) ⑦ 他教科等とのつながり(他教科等との関連付け)
(3) 「振り返り」の内容を焦点化する。	⑧ 本時の課題とまとめ(学習集団や自己の課題) ⑨ 「誰と」「何を」したかという学習の過程(学習過程) ⑩ 自分の考えがどのように変わったか(認知の過程)
(4) 「振り返り」を振り返る。	⑪ これまでの振り返りから自分の変化や成長を自覚する(自己の成長の自覚) ⑫ これまでの振り返りから自分の考えを捉え直す(批判的検討)
(5) 他者と「振り返り」を共有する。	⑬ 友達の書いた振り返りを読んで気付いたことや考えたことを生かす(他者の振り返りを自分の学びに生かす)

## 6 単元の指導と評価の計画

時間	学習課題(◆) 主な学習活動(○) (対話の視点)	評価の観点【】 評価規準
1	◆形に注目して、得点になる漢字の持ちようをまとめよう。 ○自分や友達の名前を見て、線対称な図形に当てはまる漢字を見付ける。 ○「線対称」「対称の軸」の意味を知る。 (多面的・多角的に見る)	①【知・技】 ・線対称な図形、対称の軸の意味を理解している。(ノート) ② ③【態度】 ・漢字の形に着目して点数を考えようとしている。(ワークシート)
2	◆対応する辺、角、点の意味を知り、線対称な図形の性質について理解しよう。 ○対応する辺、角、点の意味を知る。 ○対応する辺の長さや角の大きさを比べ、性質をまとめよう。	①【知・技】 ・対応する辺、角、点の意味を知り、線対称な図形の性質について理解している。(ワークシート) ② ③
3	◆線対称な図形の性質をまとめよう。 ○対応する点を結ぶ直線と対象の軸との交わり方を調べ、性質をまとめよう。 (焦点化する)	①【思・判・表】 ・線対称な図形の性質について、対称の軸や構成要素に着目して考え、説明している。(発言・ノート) ② ③
4	◆線対称な図形の性質を基にして、線対称な図形のかき方を説明しよう。 ○線対称な図形の性質を用いた、線対称な図形のかき方を考え、線対称な図形をかこう。	①【知・技】 ・線対称な図形をかき出せる。 (ノート) ② ③【思・判・表】 ・線対称な図形の性質を基に、対応する点の位置の決め方を考え、説明している。(発言、ノート)
5	◆点対称な図形と対称の中心の意味について理解しよう。 ○アルファベットの中から、点対称な図形に当てはまる字を見付ける。 ○「点対称」「対称の中心」の意味を知る。	①【知・技】 ・点対称な図形、対称の中心の意味を理解している。(ノート) ② ③
6	◆対応する辺、角、点の意味を知り、点対称な図形の性質について理解しよう。 ○対応する辺、角、点の意味を知る。 ○対応する辺の長さや角の大きさを比べ、性質をまとめよう。	①【知・技】 ・対応する辺、角、点の意味を知り、線対称な図形の性質について理解している。(ワークシート) ② ③
7	◆点対称な図形の性質をまとめよう。 ○対応する点を結ぶ直線と対称の中心との関係を調べ、性質をまとめよう。 (焦点化する)	①【思・判・表】 ・点対称な図形の性質について、対称の中心や構成要素に着目して考え、説明している。(発言・ノート) ② ③【態度】 ・対称な形の美しさに気づき、身の回りから対称な形を見付けようとしている。(振り返りシート)
8	◆点対称な図形の性質を基にして、点対称な図形のかき方を説明しよう。 ○点対称な図形の性質を用いた、点対称な図形のかき方を考え、点対称な図形をかこう。	①【知・技】 ・点対称な図形をかき出せる。 (ノート) ② ③【思・判・表】 ・点対称な図形の性質を基に、対応する点の位置の決め方を考え、説明している。(発言、ノート)

各学校の教育課程、年間指導計画、教科書等を参考に1単位時間ごとの「学習課題」「主な学習活動」を記載。

実施単元の中で、対話を取り入れる授業で子どもたちに提示する「対話の視点」を記載。

思考スキル	定義	対象学年
多面的に見る	対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりして多様な視点や観点に立って対象を見る	低学年～
多角的に見る	対象を異なる複数の角度から捉えたりして多様な視点や観点に立って対象を見る	低学年～
順序立てる	複数の対象について、ある視点や条件に沿って対象を並び替える	低学年～
焦点化する	重点を定め、注目する対象を決める	低学年～
比較する	複数の対象について、ある視点から共通点や相違点を明らかにする	低学年～
分類する	複数の対象について、ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる	低学年～
関係付ける	学習事項同士のつながりを示す	低学年～
関連付ける	学習事項と実体験・経験とのつながりを示す	低学年～
変換する	表現の形式(文、図、絵など)を他の形式に変え、注目すべき情報を絞り込む	低学年～
理由付ける	対象の理由や原因、根拠を見付けたり予想したりする	低学年～
見通す	見通しを立てる、物事の結果を予想する	低学年～



## 6 単元の指導と評価の計画

5 単元の指導と評価の計画 (全 12 時間)			
時間	学習課題 (◆) 主な学習活動 (○) (対話の視点)	振り返りの視点	評価の観点【】 評価規準
1	◆形に注目して、得点になる漢字の持ちようをまとめよう。 ○ 自分や友達の名前を見て、線対称な図形に当てはまる漢字を見付ける。 ○ 「線対称」「対称の軸」の意味を知る。 (多面的・多角的に見る)	① ② ③	【知・技】 ・線対称な図形、対称の軸の意味を理解している。(ノート) 【態度】 ・漢字の形に留意して点数を考えようとしている。(ワークシート)
2	◆対応する辺、角、点の意味を知り、線対称な図形の性質について理解しよう。 ○ 対応する辺、角、点の意味を知る。 ○ 対応する辺の長さや角の大きさを比べ、性質をまとめる。	① ② ③	【知・技】 ・対応する辺、角、点の意味を知り、線対称な図形の性質について理解している。(ワークシート)
3	◆線対称な図形の性質をまとめよう。 ○ 対応する点を結ぶ直線と対象の軸との交わり方を調べ、性質をまとめる。 (焦点化する)	① ② ③	【思・判・表】 ・線対称な図形の性質について、対称の軸や構成要素に着目して考え、説明している。(発言・ノート)
4	◆線対称な図形の性質を基にして、線対称な図形のかき方を説明しよう。 ○ 線対称な図形の性質を用いた、線対称な図形のかき方を考え、線対称な図形をかく。	① ② ③	【知・技】 ・線対称な図形をかくことができる。(ノート) 【思・判・表】 ・線対称な図形の性質を基に、対応する点の位置の決め方を考え、説明している。(発言、ノート)
5	◆点対称な図形と対称の中心の意味について理解しよう。 ○ アルファベットの中から、点対称な図形に当てはまる字を見付ける。 ○ 「点対称」「対称の中心」の意味を知る。	① ② ③	【知・技】 ・点対称な図形、対称の中心の意味を理解している。(ノート)
6	◆対応する辺、角、点の意味を知り、点対称な図形の性質について理解しよう。 ○ 対応する辺、角、点の意味を知る。 ○ 対応する辺の長さや角の大きさを比べ、性質をまとめる。	① ② ③	【知・技】 ・対応する辺、角、点の意味を知り、線対称な図形の性質について理解している。(ワークシート)
7	◆点対称な図形の性質をまとめよう。 ○ 対応する点を結ぶ直線と対称の中心との関係を調べ、性質をまとめる。 (焦点化する)	① ② ③	【思・判・表】 ・点対称な図形の性質について、対称の中心や構成要素に着目して考え、説明している。(発言・ノート) 【態度】 ・対称な形の美しさに気づき、身の回りから対称な形を見付けようとしている。(振り返りシート)
8	◆点対称な図形の性質を基にして、点対称な図形のかき方を説明しよう。 ○ 点対称な図形の性質を用いた、点対称な図形のかき方を考え、点対称な図形をかく。	① ② ③	【知・技】 ・点対称な図形をかくことができる。(ノート) 【思・判・表】 ・点対称な図形の性質を基に、対応する点の位置の決め方を考え、説明している。(発言、ノート)

1 単位時間の指導のねらいや目的に沿った振り返りの視点を記載。  
ここに記載した視点を子どもたちに提示する。

「ポイント」	振り返りの「視点」
(1) 「振り返り」の目的を確認する。	① 分かったことやできるようになったこと (学びの自覚) ② 今後の学習で取り組みたいこと (学びの見通し) ③ 疑問に思ったこと、もっとやってみたいこと (新たな学びの創造)
(2) 学習時間のまとまりを意識した、学習内容を関連付けたりする。	④ 本時の学び (1 単位時間) ⑤ 単元の学び (単元全体) ⑥ 他の単元とのつながり (複数単元との関連付け) ⑦ 他教科等とのつながり (他教科等との関連付け)
(3) 「振り返り」の内容を焦点化する。	⑧ 本時の課題とまとめ (学習集団や自己の課題) ⑨ 「誰と」「何を」したかという学習の過程 (学習過程) ⑩ 自分の考えがどのように変わったか (認知の過程)
(4) 「振り返り」を振り返る。	⑪ これまでの振り返りから自分の変化や成長を自覚する (自己の成長の自覚) ⑫ これまでの振り返りから自分の考えを捉え直す (批判的検討)
(5) 他者と「振り返り」を共有する。	⑬ 友達の書いた振り返りを読んで気付いたことや考えたことを生かす (他者の振り返りを自分の学びに生かす)

## 6 単元の指導と評価の計画

5 単元の指導と評価の計画 (全 12 時間)		
時間	学習課題 (◆) 主な学習活動 (○) (対話の視点)	評価の観点【】 評価規準
1	◆形に注目して、得点になる漢字の持ちようをまとめよう。 ○ 自分や友達の名前を見て、線対称な図形に当てはまる漢字を見付ける。 ○ 「線対称」「対称の軸」の意味を知る。 (多面的・多角的に見る)	①【知・技】 ・線対称な図形、対称の軸の意味を理解している。(ノート) ②【態度】 ・漢字の形に着目して点数を考えようとしている。(ワークシート)
2	◆対応する辺、角、点の意味を知り、線対称な図形の性質について理解しよう。 ○ 対応する辺、角、点の意味を知る。 ○ 対応する辺の長さや角の大きさを比べ、性質をまとめる。	①【知・技】 ・対応する辺、角、点の意味を知り、線対称な図形の性質について理解している。(ワークシート)
3	◆線対称な図形の性質をまとめよう。 ○ 対応する点を結ぶ直線と対象の軸との交わり方を調べ、性質をまとめる。 (焦点化する)	①【思・判・表】 ・線対称な図形の性質について、対称の軸や構成要素に着目して考え、説明している。(発言・ノート)
4	◆線対称な図形の性質を基にして、線対称な図形のかき方を説明しよう。 ○ 線対称な図形の性質を用いた、線対称な図形のかき方を考え、線対称な図形をかく。	①【知・技】 ・線対称な図形をかくことができる。(ノート) ②【思・判・表】 ・線対称な図形の性質を基に、対応する点の位置の決め方を考え、説明している。(発言、ノート)
5	◆点対称な図形と対称の中心の意味について理解しよう。 ○ アルファベットの中から、点対称な図形に当てはまる字を見付ける。 ○ 「点対称」「対称の中心」の意味を知る。	①【知・技】 ・点対称な図形、対称の中心の意味を理解している。(ノート)
6	◆対応する辺、角、点の意味を知り、点対称な図形の性質について理解しよう。 ○ 対応する辺、角、点の意味を知る。 ○ 対応する辺の長さや角の大きさを比べ、性質をまとめる。	①【知・技】 ・対応する辺、角、点の意味を知り、点対称な図形の性質について理解している。(ワークシート)
7	◆点対称な図形の性質をまとめよう。 ○ 対応する点を結ぶ直線と対称の中心との関係を調べ、性質をまとめる。 (焦点化する)	①【思・判・表】 ・点対称な図形の性質について、対称の中心や構成要素に着目して考え、説明している。(発言・ノート) ②【態度】 ・対称な形の美しさに気づき、身の回りから対称な形を見付けようとしている。(振り返りシート)
8	◆点対称な図形の性質を基にして、点対称な図形のかき方を説明しよう。 ○ 点対称な図形の性質を用いた、点対称な図形のかき方を考え、点対称な図形をかく。	①【知・技】 ・点対称な図形をかくことができる。(ノート) ②【思・判・表】 ・点対称な図形の性質を基に、対応する点の位置の決め方を考え、説明している。(発言、ノート)

各学校の教育課程、年間指導計画、教科書等を参考に1単位時間ごとの「評価の観点」「評価規準」を記載。

評価の観点の表記

知識・技能⇒【知・技】

思考・判断・表現⇒【思・判・表】

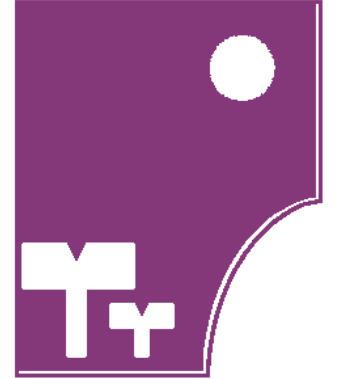
主体的に学習に取り組む態度⇒【態度】

評価の手立て

観察・ノート・実験レポート・ペーパーテスト・ワークシート など

# 今後の予定

- 1 単元計画の作成
- 2 授業実践（8月～10月の間で）
- 3 授業実践後のアンケートの回答（第7回会議で説明）
- 4 単元計画の提出



# 単元計画の作成、提出について

- 単元計画はWordで作成していただき、メールでご提出ください。
- 作成した単元計画は、研究紀要と当研究所HPで紹介させていただきます。
- 提出締切日 **締切日：10月30日（月）**

